

重要

令和3年9月6日

保護者各位

八戸市立八戸小学校
校長 小林 淳

やむを得ず学校に登校できない児童へのICTを活用した学習指導等について

日頃より、感染症拡大防止対策へのご協力に感謝申し上げます。

当市においても感染拡大の状況にあり、臨時休業や学級閉鎖等の措置がされない場合でも、児童本人及びその同居家族の状況によっては出席停止となったり、あるいは保護者が不安を感じ登校させない意向を示したりするなど、やむを得ず学校に登校できない児童が増加することが懸念されます。

つきましては、やむを得ず学校に登校できない児童の学びを保障するため、下記のとおり「ICTを活用した学習指導」を進めてまいります。

記

1 基本的な考え方について

- 従来、病休等により登校できない児童については、登校再開後の補充学習等により学習保障を行ってきたところです。
- しかし、現在の感染状況では、どの児童生徒にも登校できない事態が生じる可能性があり、同一学級において児童によって登校できない日や期間が異なることも想定され、その後の補充学習等を行う教師の負担が増大するだけでなく、児童の学習保障が十分にできない恐れもあります。
- そこで、ビデオ会議ツール（Google Meet）により教室での授業をリアルタイムで児童の自宅で視聴するなど、ICTを活用した学習指導を進めていきたいと思います。よって、次の点について態勢づくりを進めてまいります。

本人・保護者の意向を確認しながら、以下を進めます。

① 「ICTを活用した学習指導」の対象・対象外について

- ・ 対象 出席停止で本人に症状がない場合
- ・ 対象外 体調不良等により、1～2日程度の療養をする場合
感染症の療養中にある場合

② 「ICTを活用した学習指導」対象となった際の流れ

- ・ 1人1台端末を自宅に持ち帰る（保護者等による受け取り）
 - ・ 1人1台端末を家庭のインターネットに接続する
 - ・ Google Meetを使用する（「健康観察」及び「授業のリアルタイム視聴」）
- ※リアルタイム視聴を主に想定しています。双方向のオンライン授業のスタイルを必ず行うものではありません。

3 今後の状況による対応について（見込み）

学校・学級の対応	対 応
授業を実施しているが、出席停止等の児童がいる場合	・登校している児童に対して授業を実施 ・出席停止等の児童に対しては、Google Meet を使用して健康観察、授業のリアルタイム視聴を実施
臨時休業、学年・学級閉鎖の場合	例 Google Meet を活用した健康観察とオンライン学習やドリル教材活用等 ※学校の状況や児童の実態等を踏まえて実施

※健康面での影響を踏まえ、一日すべての時間割をオンラインで行うものではありません。

4 1人1台端末の家庭での利用について

- ・学習に関係のない目的では使わない
- ・利用時間等のルールを定める
- ・端末を使用する際により姿勢を保ち、目と端末の画面との距離を30cm以上離す
- ・画面の反射や画面への映り込みを防止するために画面の角度や明るさを調整する
- ・部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを調整する

八戸市教育委員会作成の「1人1台端末の持ち帰りに向けて～1人1台端末は『令和の学びのスタンダード』～」もご覧ください。



5 Google Meet への参加について

Google Meet への参加については、低学年等不慣れな児童もおります。必要に応じて、八戸市教育委員会作成の「家庭におけるオンライン学習準備～起動から Meet への参加まで～」をご活用ください。

